

市民と立憲野党の作る選択

講師

中野 晃一

さん

2012

年体制
を超えて

コロナ禍のさなか8年近く続いた安倍政権が終わり菅内閣が発足したが、国会や憲法に基づいたアカウントビリティ（応答責任）を政府が一切果たさない「2012年体制」が存続してしまっている。「安倍政治」として属人的な特性として理解されていた一強多弱の無責任・非立憲政治のありようが、もはや総理の資質の問題を超えて「レジーム化」してしまったのである。他方で、安保法制に対する戦いから5年以上が経過し、市民と立憲野党の共闘体勢も再構築の必要を迎えている。私たちは2021年の今、いかにして繋がり、変えることができるのか。安倍から菅に継承された「2012年体制」とは何か。本講演では、その問題点や弱点を探ることから始め、市民がいかに尊厳、暮らし、そして命をかけて戦い抜くことができるかを考え進めていきたい。2021年の総選挙で2012年体制に終止符を打つことができるか、日本政治は重大な岐路に立っている。

講師について

略歴 1970年、東京生まれ。「立憲デモクラシーの会」や「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の呼びかけ人。

略歴

『私物化される国家支配と服従の日本政治』（角川新書）-2018/2/10。

『いま、朝鮮半島は何を問いかけるのか 民衆の平和と市民の役割・責任』

2019/4/19 内海 愛子、中野 晃一。

『野党が政権に就くとき 地方分権と民主主義』

2019/6/25。

5月16日

14:00 ~ 16:30

(開場 13:00 より入室できます)

参加費：1,000円

HP <http://begleiten.org/>

f <https://www.facebook.com/begleiten2>

t <https://twitter.com/Begleiten2001>

問合せ先：

関根 090-9146-6667

k_sekine@f7.dion.ne.jp

主催

Begleiten
ベグライテン

申込み方法：

次の peatix アドレスから申込み、各自が選択された方法で事前にお支払いください。

<https://begleiten210516.peatix.com/>
(入金後のキャンセルは、ご容赦ください。)

Zoom の URL：

お支払い確認後、5月16日(日)

12:30 ~ 13:00 に Zoom の URL、ID、パスワードを、個別にご連絡します。Zoom を利用されたことのない方は、使用方法をお伝えします。お申込み時にお知らせください。

